

2016 年度 事業計画

1. 事業の概要について

(1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・地域の社会福祉、青少年の健全育成、女性の地位向上や社会参加活動、生活環境・地球環境の整備の分野で社会貢献活動をされ、顕著な功績のあった京都と関わりのある（京都在住、活動の拠点や原点が京都にある等）個人や団体を顕彰する。
- ・2016 年度の京都ヒューマン賞の贈呈式および懇親パーティーは、2016 年 6 月 3 日（金）11:00～13:00 ホテルグランヴィア京都にて開催する。

(2) 一般助成事業

- ・当法人の事業目的に合致し、地域の社会福祉、青少年の健全育成、女性の地位向上や社会参加活動、生活環境・地球環境の整備の分野において京都府内で社会貢献活動をされる個人・団体に対して助成を行う。
- ・2016 年度予算は前年度実績(見込み)並みの助成金額とする。助成申請件数が増加する一方で、配当金収入が 120 万円減少する見込みであることを踏まえ、従来から助成してきたテーマについての助成継続の是非および助成金額の精査を行っていく。
- ・助成実施における分野のアンバランスな状況を是正するために、2016 年度は女性の地位向上や社会参加の分野での助成件数・金額を増やすことを目指す。
このため、女性の地位向上や社会参加の分野における社会的課題（ドメスティック・バイオレンス(DV)、シングルマザーの育児の悩み等）の解決に向けて、経済的に困窮している女性たちが交流するための経費や民間が運営する DV シェルターの維持管理に必要な経費の一部を助成できるよう助成金交付規程の細則を改定し、助成していく。
- ・助成は、外部有識者による助成適正評価、専務理事の同意意見、理事長の決裁により実施する。
- ・4 回目以上の長期継続助成については、理事会での審議により、継続助成が適当と判断されたテーマについて行う。

(3) 広報・宣伝活動

- ・従来からのホームページ上での告知、オムロン基金の紹介チラシの配布、京都府のメーリングリストによる案内、マスコミ発表を継続する。
- ・京都市まちづくりアドバイザーと連携し、京都市内の社会貢献活動団体への広報活動を実施していく。
- ・このほか、従来から関係構築してきた京都府内の行政、中間支援組織、活動団体と連携を図り、京都ヒューマン賞への応募および助成事業への申請件数および助成金額の増加を図る。

2. 法人運営費用について

(1) 収支計画について

(収入)

- ・基本財産の運用益は、498 万円を見込む。
- ・オムロン株式会社株式 20 万株の配当金として、6 月末および 12 月初めにそれぞれ 680 万円ずつ、年間合計 1,360 万円の収入を見込む。
- ・オムロン株式会社から 500 万円の寄付金を見込む。(公益目的事業会計費と法人会計費として)
- ・この結果、経常収益の見込みは、前年度予算より 240 万円減、前年度(見込み)比 223 万円減の 2,358 万円を見込む。

(支出)

- ・顕彰事業費(懸賞費用、式典費用等)は、前年度予算比 20 万円増の 880 万円とする。
- ・助成事業費は、前年度予算比 50 万円増の 750 万円とする。
- ・公益目的事業の管理費は、前年度予算比 143 万円減、前年度(見込み)比 154 万円減の 232 万円とする。
- ・この結果、公益目的事業費の合計は、前年度予算比 73 万円減、前年度(見込み)比 141 万円減の 1,862 万円とする。収支相償については、102 万円の赤字となるため適合する見込み。
- ・法人会計の管理費は、前年度予算比 50 万円減、前年度(見込み)比 20 万円増の 324 万円とする。
- ・この結果、経常費用の合計は、前年度予算比 123 万円減、前年度(見込み)比 121 万円減の 2,186 万円とする。

(2) 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定はありません。